

2017年11月24日

## 日本農薬株式会社 次世代育成支援のための行動計画

当社は、社員が安心して仕事と子育てをしながら両立して働き、能力を十分に発揮できるように社員が働きやすい雇用環境を整備するとともに、次世代育成支援において社会的な貢献を果たせるよう、次の通り行動計画を策定する。

### 1. 計画期間

2018年（平成30年）1月1日 ～ 2019年（平成31年）12月31日の2年間

### 2. 内容

【目標1】 計画期間内に、育児休業の取得率を次の水準以上にする。  
男性社員・・・計画期間中に配偶者が出産した男性社員に対する育児休業を取得した者の割合が7%以上であること。  
女性社員・・・取得率75%以上を継続させる。

<対策>

- ・ 2018年（平成30年）1月～ 男性も育児休業を取得できることの広報活動を実施。

【目標2】 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

- ・ 就業時間、就業場所にとらわれない働き方を検討する。
- ・ 長時間労働を削減する。

<対策>

- ・ 2018年（平成30年）1月～ 労使にて調査し十分検討のうえ、可能な制度から順次実施する。
- ・ 社員の労働時間の管理を徹底し、生産性向上策への取り組みにより、ムリ・ムダ・ムラのある業務の削減を目指す。

【目標3】 年次有給休暇の取得を推進し、一人当たり平均取得日数を以下の通りとする。

- ・ 2017年10月～2018年9月： 一人当たり平均10日以上
- ・ 2018年10月～2019年9月： 一人当たり平均10日以上

<対策>

- ・ 2018年（平成30年）1月～ 年次有給休暇の取得状況を労使で把握し、あわせて労使協同し広報活動を実施

以上